

# ざっくばらん

こども塾神田園  
塾長だよりNo.14  
R 4.1.12(水)

職員の皆様へ(共に学びましょう!)

## あけましておめでとうございます!

職員の皆様、あけましておめでとうございます。  
新年を迎える新鮮な気持ちでより良い保育活動をめざしていきましょう。今年もご協力を願いいたします。  
新年を迎えて、私は次のような目標を立てました。

### 「絶対肯定 絶対安心 絶対感謝」

これは私の尊敬する鍵山秀三郎氏の言葉です。

“人間関係において重要な事は「絶対肯定」できるお互いの信頼です。お互いを信頼できるようになれば「絶対安心」の関係になり、何事にも感謝できるようになります。”とのことです。

私は、こども塾が子供達にとって、より居心地のいい場となること、こども塾が職員の皆様の生きがいの場となることをめざして、「絶対肯定・絶対安心・絶対感謝」の目標の達成をめざしてこの一年を過ごしていきたいと思っています。

職員の皆様、感謝と笑顔のあふれるこども塾と一緒に作っていきましょう。よろしくお願い致します。



### 〈今日の名言〉 感謝するから幸せになれる

人は幸せだから感謝するではありません。小さなことにも感謝するから幸せになれるのです。幸せを願うならば、小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になることです。

鍵山秀三郎

### ※鍵山秀三郎氏の紹介

トイレ掃除で有名な方です。イエローハットの創業者です。「日本を美しくする会」「掃除に学ぶ会」などを創立し、現在、多くの経営者に影響を与えられています。私も鳥巣分校勤務時代から多くのアドバイスをいただきました。

### 一隅を照らす

「一隅を照らす」という言葉をご存じでしょうか。最澄が残した言葉です。正確には「一隅を照らす、これ則ち国宝なり」です。

世の中には、人それぞれにその人の持ち場があります。たとえ目立たないような物事でも、その持ち場をしっかりと取り組む人こそ尊い人だという意味です。

「こども塾は我なり」の気概で、職員の皆様と一緒にそれぞれの持ち場で「一隅を照らす」ことをめざしていくことができればと思っています。

### 自己評価チェックリストに記入をお願いします!

自己評価のプリントをお渡しします。保育活動の参考になりますので、ぜひ目を通して自己評価欄にチェックを入れてください。15日(土)の園内研修時に記入の集計用紙をお渡しします。集計表は、21日(金)までにご提出ください。

(波戸内勝彦)

# ざっくばらん

こども塾神田園  
塾長だよりNo.15  
R.4.1.12(水)

職員の皆様へ(共に学びましょう!)。

## 保育の土台を考える

今は以前とは物の見方考え方が大きく違っています。社会も家庭も学校も子供達も…。これからもどんどん変わっていくでしょう。

教育の世界も「教師指導」「一斉指導」という考え方が難しくなり、「個性尊重」「個に応じた支援」という考え方を中心となっています。

保育も当然、活動の考え方も仕方も変わってくるでしょう。考え方が変わっても保育がぶれないためにはしっかりとした土台が必要だと思います。

こども塾に限らず、今までこれからも「恕の心」を土台にすべきだと思っています。

言い換えると「愛情」「優しさ」「思いやり」です。

愛情を子供達に伝える方法は、「和顔愛語」が最適だと考えています。愛情を伝える笑顔と優しい言葉遣いです。子供達のため、私達自身のためにぜひ実践していきましょう。

こども塾の玄関に「恕の心」と「和顔愛語」の言葉を飾っています。よかつたらご覧ください。



〈今日の名言〉 昌道の人多けれど 行道の人少なし

立派なことを言う人は、世の中に沢山おります。しかし、言葉でいくらいいいことを説いても、行動が伴わなければ何も変わりません。

鍵山秀三郎

## 一流と二流の差

「和顔愛語」には我慢も必要です。一流と二流の違いは我慢して方針を貫けるかにあると思っています。

百年間、人を怒ったことがないとおっしゃっている鎌田敏子さんの言葉を紹介します。(100歳だからです。)

素直な心で思いやり

素直な心でひかえめに

流した涙はがまん

がまんの華です

素直な心でがまん

素直な心でとらわれず

ゆかしき人も

人の一流二流はがまんの差

私も教師になって「絶対に怒らない」という我慢の修行をしました。怒るのを我慢しすぎて胃がムカムカしてめまいを起こすこともありました。でもそのおかげで怒らずに学級経営をする方法を身に付けました。

何度も言いますが、「叱ってはいけない」ではありません。でも「土台は褒めて認めて愛情を伝える」ことが、大切だと私は経験上確信しています。

これは子供に対してだけではありません。むしろ大切なのは大人の方かもしれません。大人になり社会に出て一番の悩みは人間関係だそうです。力を合わせて一流の職場ををめざしていきましょう。

(波戸内勝彦)

# ざっくばらん

こども塾神田園  
塾長だより No.16  
R4.1.13 (木)

職員の皆様へ(共に学びましょう!)

## 叱る!を考えるその②

職員の皆様にはぜひ「褒める、認める、愛する」を土台に保育を行ってほしいです。

でもこれは!というときは叱ることも必要です。でも叱り方(怒り方)を知らないと効果がないどころか逆効果です。

### ☆叱るポイント ズバリ!短く叱りましょう!

○してはいけないのは、しつこく叱ること。それは本人の自己満足で、聞いている人は「もう分ったよ」って嫌気がさしてくるんです。(井村雅代氏)

○叱ったり、注意をしたりすると「どうして悪いの」と子供は聞きます。その時、どうするかです。多くのお母さん(保育士)は「おまえの今やったことは、こういう理由でダメなんだよ」という説明をしているのではないでしょうか。結論から言えば、しない方がいいです。(田下昌明氏)

○「こういう理由だから悪いことなんだ」と言ったとき、「あ、そうかそうだったの



### 〈今日の名言〉

鍛冶屋が腕を振って腕が太くなるように元気を出し続けていると、元気は増していく。

三宅雪嶺

か、わかったよ」と言ったらそれは嘘です。そこでわかるなら始めからしません。わかっていないからやったのです。ではどうしたらいいのでしょうか。「お母さん(先生)がいけないと言ったらいけないんです」この一点張りでいってください。それでも「どうして」って食い下がってきたら「いまにわかります」と言えばいいのです。この辺はテクニックですから順番を間違わないでください。

(田下昌明氏)

学校でも力量のある先生は以下のことを常識として知っていました。

○長く説教をしていると、子供は何で叱られていたのかわからなくなる。

○説明(説教)をすればするほど、子供は話を聞かなくなる。

以下は、No.1.2でお伝えしました。再度お伝えします。

### 褒める 励ます 責める 叱る

これは教育効果の順序です。褒めることが第一です。褒めるは85%、叱るは15%の効果だそうです。

「褒めあげる」という言葉があります。褒めあげ、褒めあげていく。これを「善導」と言います。ときには厳しく叱ることも必要です。でも基本は褒めて導く「善導」を心掛けていきたいものです。

(波戸内勝彦)

# ざっくばらん

こども塾神田園  
塾長だよりNo.18  
R4.2.21(月)

職員の皆様へ(共に学びましょう!)

## いい発表会でした！

職員の皆様、19日(土)は子供達の成長がよく見られたいい発表会でしたね。

職員の皆様には、日頃の保育活動、そして発表会へ向けての練習等、本当に感謝いたします。そしてお疲れさまでした。

保護者の方の参加がなく残念でしたが、逆にリラックスできて練習の成果がよく發揮できたようにも思えました。

職員の皆様から感想をいただき、来年度にいかしたいと思っています。私は華美にならず、普段の活動の成果を発表することができてよかったですなと思いました。



## 園内研修

園内研修への参加ありがとうございました。

吉井園長からは、今、盛り上がっているオリンピックの話から、チームワークの大切さを話していただきました。

これからもお互いを尊重し合える職場つくりと一緒にめざしていきましょう。

私からは令和4年度からの方針の1つ「恕の心」について話させていただきました。「恕の心」の具体的実践は、「言葉遣い」「笑顔」そして「子どもへの接し方」です。

肯定は肯定を生み、否定は否定を生みます。これからも

## 〈今日の名言〉

幸せを求めてる？ 幸せはどこから来ると思う？ 外から、他人から？ 内から、自分から？ 幸せは、自分の笑顔、自分のさわやかな声、自分のやさしい言葉からやってくるんだ。 高木善之

職員の皆様と共に、子どもたちを認め、褒めて、愛情を伝え、信頼関係を築いていきましょう。

## 子ども佐賀新聞より 2/20

卒園児の宮崎愁愛くんの作品です！

### 《愁愛くんのコメント》

放課後児童クラブに通う途中に死にかけのスズメバチがいて、後で図鑑を見ながら描いた。虫が好き。かつこよくて、背中の部分がよくできた。賞をもらってうれしい。



▲吉崎 愁愛さん(唐津市)の作品

## 子ども研究ネットワーク研究大会より

昨日「社会情緒的能力の育ちと環境：目と手と心で子どもを支える」というテーマの研究会にオンラインで参加しました。いい勉強になりました。

講師の篠原郁子先生のまとめが心に残りました。

- ・乳幼児期は人生の始まり。人間関係の根底の部分です。私は人間関係を一番大切にしたい。
- ・守ってもらえる、他者に対する信頼感、人生の始まりの部分に力強く伝えたい！

※園内研修で伝えたかったことと全く同じでした。(波戸内)

# ざっくばらん

こども塾神田園  
塾長だより No.19  
R4.3.4 (金)

職員の皆様へ(共に学びましょう!)

## ご迷惑をおかけしました！

またまた目の手術で休んでしまい、職員の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。

令和3年度まとめの3月に入り、慌ただしくなると思います。私に手伝えることがあれば遠慮なく言ってください。

### 相田みつをさんの詩より

「部屋に一枚」という相田みつをさんの詩があります。9連の長い詩ですが、6・7連目を紹介します。

毎日見ているだけで  
子供のこころがよくなります。  
あなたのこころがふかくなります。

幼い子供を育てる間は  
お母さんの心が落ち着かないから  
やさしい顔の  
仏さまの写真を飾ることを  
おすすめします

子育て中のお母さんは本当に大変だと思います。そのお手伝いをしているのが保育園です。こども塾の方針「恕の心」



### 〈今日の名言〉

子どもに嘘をつかれてもがっかりせず、  
子どもの気持ちに共感し、  
子どもへの信頼を示しましょう。(七田眞)

を表現する「和顔愛語」に努めて、子供の心を良くし、私達自身の心を深くしていきましょう。

### 卒園式までの主な行事

#### ① 12日（土）どんぐり植樹

清隆園長先生の活動です。平原までマイクロバスで行きます。参加園児は、ゆめ・そら組です。10時集合なので9時30分には出発します。

#### ② 18日（金）お別れ遠足

河畔公園までの遠足です。以上児が先にマイクロバスでいきます。運動公園あたりから歩いて公園まで行きます。その間に、にじ・もり組を迎えて行き、公園で合流します。はな組はお留守番です。

※どのクラスもお弁当持参となります。

※雨天時は、後日お知らせします。

#### ③ 22日（月）お別れ会

#### ④ 26日（土）卒園式 午後は園内研修（30分）

③④の詳しい内容は後日お知らせします。

残り一ヶ月をより充実したものにしていきたいですね。「自分よし、相手よし、周りよし、神さまよし」の四方よしを目指して、笑顔で過ごしていきましょう。(波戸内勝彦)

# ざっくばらん

こども塾神田園  
塾長だよりNo.22  
R4.3.7（月）

職員の皆様へ（共に学びましょう！）

## お勧めのTV番組より

職員研修で清隆園長に教えていただいた『ミステリーと言う勿れ』は見ましたか？なかなかいい番組です。ついでにマンガ本も10巻借りて読みました。主人公が小学校教師を目指しているので、子育てに役立つ会話がいくつかありました。

①「僕は子供を持ったことはないですが、子供だったことはあります。親になったら忘れてしまうのかもしれません、僕は今、子供の立場でものを言っています。」

※時には、子供だった時のことと思い出して、子供の立場になって考えることも大切だと思います。

②「子供って乾く前のセメントみたいなんですって。落としたものの形がそのまま後になって残るんですよ。児童心理学者の言葉ですけど。」

※「マルトリートメント」という言葉があります。最先端の脳科学の研究より、虐待や暴言などのストレスから、子供の脳が傷つけられることが分かっています。子供を健全に育てるには愛情とぬくもりが必須だということです。



### 〈今日の名言〉

子どもを健全に育てるためには、親が健全であることが求められます。

（福井大学教授 友田明美）

※共に健全な大人になることをめざしましょう。

③その先生は、みんなと一緒にあなたをカエルと呼んだ時点でダメです。

※子供の容姿から嫌なあだ名をつけることはしてはいけません。「くん」「さん」をつけて、名前を丁寧に呼ぶことが大切ですね。

④自分に苦手なものがあると認知している教師は、生徒にもそれがあると理解できる。自分にできることは人もできる、自分はこうだったから人もそうだろう。そう信じる教師は多くを取りこぼすことになる。

※子供にいつも厳しく接する先生を見て、あの先生は子供の頃から出来ていたのだろうか？とよく思っていました。私にはそんな自信はありませんでした。

子供達に

「もし先生がこのクラスの子供だったら、あなたたちの方が〇〇がよくできていたよ。」

「先生が小学生の時は出来なったよ。」  
などと話していました。

そうすると子供達は安心してくれていきました。



（波戸内勝彦）